



お楽しみ会の計画を立てよう(4年生)

12号でもお伝えした通り、潮見小学校では、特別活動を中心とした研究実践を行っています。

7月11日(火)に4年3組で、学級活動「お楽しみ会の計画を立てよう」の授業を行いました。今回の授業では、全員が学級の生活をよりよいものにしていこうという思いをもって学級会に臨んでいました。お楽しみ会で言うゲームを決めたり、役割を考えたりするのですが、大事なことは、話し合いの中で根拠をもって自分の意見を言うことです。さらに、その根拠となるものが、提案理由である「1学期の出来事や頑張ったことを振り返りたい」「みんなと協力してお楽しみ会を開催し、クラスの中を深めたい」というものに合致しているかどうかということが大事になります。「ただ楽しいことだけしたい!」というものではないのです。

子どもたちは、事前に自分の意見を記した「話し合いカード」を基にしながら、お楽しみ会をよりよいものにしようとしていました。準備や役割分担についても、比べたりまとめたりしながら、よく考えて意見を述べました。

議長団は、丁寧に話し合いを進めていましたし、記録もみんなによく分かるように書いたり、印をつけたりしていました。子どもたちは、自分の意見をみんなに伝えることができたので、決定事項に納得していました。安心して自分の考えを表明できる雰囲気、自分の意見に対して賛否はあっても認められているという充実感が、話し合いの中から感じられました。4年生として正しい手順を踏んだ適切な話し合いを行うことができました。



日本の伝統文化と英語の交流(6年生)

7月5日(水)に6年生の総合的な学習の時間「受け継ごう!日本の伝統文化」の学習で、剣道、華道、茶道、相撲の4つの文化体験を行いました。

子どもたちにとって、これらのことを見聞きしたことはありますが、体験したことはなかなかありません。講師の方から、歴史的な背景の説明を受けた後、実際にしてみるようになりました。短い時間ではありましたが、体験することで難しさや奥深さを理解することができました。講師の先生方、ありがとうございました。



7月6日(木)、7日(金)には、外国語科の学習の中で河野小学校とオンラインで交流を図りました。互いの学校の良いところについて英語表現を使って紹介し合いました。ICTを利用して交流することができました。

6年生は、昔からある伝統的なことを学習したり、今の時代を象徴するよう機器を使って活動したりして、幅広い教養を身に付けています。